

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580310	文化財資料購入事業				主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	郷土の歴史と文化に関わりの深い文化財資料を購入し、その散逸と消滅を防止する。併せて、資料館の収蔵資料を拡充しながら、これを展示会等を通して一般に公開する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							評価、諮問等の審査手続き資料の作成件数		点		
							文化財資料の購入手続き点数		点		
							その指標				
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		文化財資料に関わる情報収集と調査検討を行なう。購入予定の文化財資料の調書を作成し、文化財保護委員会へ諮問する。同委員会にて審議され、その答申を受けて後に購入手続きを行なう。文化財資料台帳へ記録し、資料館館蔵資料として保管管理する。									
26年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
市にゆかりのある収蔵した文化財資料 市にゆかりのある購入した文化財資料						名 称		単 位			
						市にゆかりのある収蔵した文化財資料の数		点			
						文化財資料の購入点数		点			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
文化財資料として購入し、その散逸と消滅を防止する。 展示・研究等に利用する。						名 称		単 位			
						文化財資料の購入点数(累計)		点			
						展示・研究等に利用した購入文化財資料の点数		点			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
伝統文化を保護保存し次代に継承する						名 称		単 位			
						伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%			
						伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		点	2	1	2	2	2	2			
		点	1	1	2	2	2	2			
(6)の対象指標		点	28,724	28,747	28,847	28,947	29,047	29,147			
		点	1	1	2	2	2	2			
(7)の成果指標		点	110	111	113	115	117	119			
		点	5	10	20	20	20	20			
(8)の結果の成果指標		%	74	62	74	74	74	74			
		%	50	53	50	50	50	50			
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト	年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)	単位	300	70	317	317	317	317				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	300	70	317	317	317	317			
人件費B	千円	95	93	93	93	93	93				
	正職員従事時間×人数	時間×人	25×1	25×1	25×1	25×1	25×1				
	正職員以外の人件費	千円									
その他費用C	千円	9									
トータルコストA+B+C	千円	404	163	410	410	410	410				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 点	0	0	0	0	0	0				
	千円/ 点	404	163	205	205	205	205				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580310文化財資料購入事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和57年の資料館の開館を契機に郷土出身の画家の伊豆原麻谷の作品を主体に文化財資料の収集を開始している。	文化財保護委員の意見としても特に価格の高い伊豆原麻谷の優品を収蔵すべきと指摘されている。みよし市に関わりのある文化財資料がいつ世に出てくるのか分からないため、予め備えておく必要がある。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 世代交代、社会事情の変化に伴い文化財、伝 変化している 内容 統文化への関心が鈍化している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)、みよし市文化財保護条例(18条)他 博物館類似施設の資料館として、郷土にゆかりの深い文化財資料を収集しその散逸と消滅を防止する。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	みよし市ゆかりのある文化財資料の購入にあたり、厳選して購入手続きを進めており、現状の水準を維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	みよし市にゆかりのある文化財の散逸を防止し、資料館が収蔵する文化財(資料)を拡充するため、継続的な購入が必要である。					